



高等部1年生の宿泊研修の様子

特集

今日から学校が 男女共学に

～教育と男女共同参画を考える～

長い歴史と伝統を持つ男子校・女子校の中には、共学校として新たな一步を踏み出した学校があります。今号では変わりゆく学校と、その中で進められている男女共同参画について考えます。

までの学校生活9年間は男女共学だったわけで、生徒にとっては当たり前のことだったのですね。

Q 男女共同参画について具体的に、どのような指導をしておられますか？

男子女子という区分けは意識していません。むしろ男女共に同じことをすることでお互いを理解するようになるのではと考えています。家庭科では調理なども行いますし、家庭介護などの実習も同じようにしています。

生徒会の会長は男子生徒ですが、茶道部のキャプテンでもあります。男女意識は自然な形になっていると思います。

Q DV(デートDV)など、暴力の未然防止にむけて具体的な対策があれば教えてください。

校訓である「敬愛感謝」はお互いを尊重し、感謝し合う精神を言葉にしたもので、学校生活全般にこの方針が活かされています。

進学だけが目標ではなく「社会で有為な人材」を目指しているため、公民やホー

慶進高等学校

宇部市

学校概要

中高一貫、アドバンス、グローバルの3つのコースを持つ。他校に比べて授業コマ数が2割以上多く、独特な進学校となっている。

沿革

- 1928年 宇部裁縫女学校として開設
- 1945年 財団法人宇部学園女子商業学校となる
- 1948年 学制改革により宇部学園女子高等学校となる
- 2002年 慶進高等学校と改称、男女共学となる

Q 男女共学になった経緯を教えてください。

長い間、女子教育を中心に行ってききましたが、現在は、男女が共同して築く社会を目指す時代にあります。女子教育の意味が無くなったわけではありませんが、時代の求めに応じた結果だったと考えています。

ムルームなどの時間を利用して人間教育に力を入れています。この教育がDVなどへの対策につながるのではないかと思います。

Q ワーク・ライフ・バランスへの取り組みを教えてください。

特別にそうしたことを取り上げてはいませんが、本校の部活動の時間は他校に比べてかなり制約されています。月曜日から金曜日まで毎日7時限、土曜日は3時限の授業体制で、あまり自由な時間はありません。しかし、その制約の中でいかに効率よく、集中して練習するかを学んでいると思います。こうした経験が、きちんとしたライフスタイルにつながるのではないのでしょうか。



後日、慶進高校を再訪問したおりに野球部の選手に校内で出会いました。夏の大会に備えての貴重な時間だったはずですが、その場に立ち止まり脱帽して「こんにちは」の清々しい声に、こころ洗われました。

(取材：原田・有田)

Q 男女共学になったことで、学生の行動やメンタル面での変化がありましたか？

全体に活気が出たことでしょうか。部活動の幅も広がりましたし、生徒の活躍が学校の活気を益々増進していきました。

また徹底した挨拶運動を続けています。男子の元気に女子も引っぱり張られているという状況です。

実は我々は初めて男子生徒を迎え入れるということにかなり緊張していました。ところが最初に入学してきた男子生徒78人は、何の戸惑いもなく馴染んでくれました。考えてみれば中学生



誠英高等学校

防府市

学校概要

普通科と情報会計科、福祉科の3学科があり、普通科の中に特別進学・情報文化・生活文化コースを設ける等多様な選択肢が特徴。全日制の他、通信制を設置している。

沿革

- 1910年 山口県三田尻高等女学校設立
- 1955年 学校法人となる
- 2003年 法人名を三田尻学園に、学校名を誠英高等学校に改称し、男女共学となる

Q 男女共学になったことで、学生の行動やメンタル面での変化がありましたか？

指導面では男子と女子とが、お互いに尊敬しあう大切さを説く機会が増えました。男女とも「大人」としての自覚を持ちはじめ、相手を尊重しようとする気持ちが芽生えたと思います。

Q 男女共同参画について具体的に、どのような指導をしておられますか？

特別な教科としては取り入れてはいませんが、全教科において、機会があれば男女共同参画の話題を折りこむようにしています。



また、月初めに全校生徒に向けて行う「月頭訓話」では、校長から男女共同参画の意義や大切さ、男女の違いを自覚し、お互いを支えあう重要性を話しています。

職員内では、人権についてのガイドラインをしっかりと設け、周知徹底して指導にあたっています。

生徒指導においては、決して「ゼロトレランス」という規約にして、生徒に

厳しく指導しています。学校行事では男女の違いを考慮し、役割の分担に配慮しています。

Q DV（デートDV）など、暴力の未然防止にむけて具体的な対策があれば教えてください。

「暴力は絶対に許さない」という強い意志を学校全体がもって、日々の指導を行っています。さきほどの月頭訓話でも全校生徒へ繰り返し返し、そのことを訴えています。

Q ワーク・ライフ・バランスへの取り組みを教えてください。

本校では、生徒に対し、やさしい心、強い心、協力する心を磨き、夢をつかみ取る人になってほしいと願っています。

そこで、一人ひとりが「きまり」をきちんと守ることが大切だと、「人間力」の形成に力を入れています。

この良い習慣を身につけることが、社会で将来活躍する重要な要素になると思います。

「人間力」の形成が、生徒にあったワーク・ライフ・バランスを見つけ出すきっかけになるのではないのでしょうか。



吉野紀生校長

（取材：河谷）

梅光学院大学 下関市

学校概要

学部と大学院を合わせて約900人の学生数が在籍し、約70人の留学生を受け入れている。男子学生はそのうちの3割を占めるまでになっている。

沿革

1872年 長崎にてヘンリー・スタウト博士夫妻により聖書と英語塾の梅香崎女学校として開設
光城女学院と合併し下関梅光女学院となる
2001年 開学130周年を機に男女共学となる

たのですが、あまり大きな混乱はありませんでした。開学時は男女共学だったのですから、原点に戻ったということだったのでしよう。

Q 男女共学になったことで、学生の行動やメンタル面での変化がありましたか？

一番の印象は活気が出てきたことですね。今までは体育祭などの準備にも女子が中心にならざるを得ませんでした。現在では男子学生が引き受け、お互いの持ち場で活躍できるようになりました。

当初は男子学生が少なかったのが孤立しがちでしたが、今ではそういうことはほとんどありません。

男子学生の活躍の場をひろげることがポイントでしたが、サッカーやラグビーなど特にスポーツ系の部活動が活発になると状態は良くなりました。

変わった点では女子大時代より女子学生がさらに活発になりました。

Q 男女共同参画について具体的に、どのような指導をしておられますか？

開学130周年記念事業として、従来二つあったキャンパスを市の中心部に統合し、男女共同参画社会に向けての時代の要請や、少子化など学生数の減少に対応するために共学を開始しました。共学となった当初はかなり構えてい

Q 男女共学になった経緯を教えてください。





左から、高瀬 剛准教授、樋口紀子教授、原田進造総務部長

学内に「セクシュアルハラスメント防止対策委員会」を設置し、そうした問題への予防を心がけています。

Q ワーク・ライフ・バランスへの取り組みを教えてください。

世界のひとともに生きるといふ教えに従う教育方針なので、取り立てて個別の課題を取り上げてはいません。ただ、人としての倫理観を養うことを一番重要視しています。

科目はありませんが、授業や個人指導の中で自分の家庭の話などを例にし、ユーモアを交えてワーク・ライフ・バランスについて話しています。家事や子育てを夫婦で分担することなども、学生は興味深そうに聞いています。



語学系の学生は専攻する言語の文化に触れるために「全員が語学留学する」など、ユニークで一貫した教育方針が印象に残る梅光学院大学でした。

(取材：原田・有田)

Q DV(デートDV)など、暴力の未然防止にむけて具体的な対策があれば教えてください。

本学はキリスト教を教育の根幹としていますので、男女差を前提とする前に、人としてのあるべき姿、他人を思いやる心などを徹底して指導しています。学生の悩みや問題について常に教職員が目配るために少人数のチューター制を採用しています。何か少しでも変化が見られたら、すぐに相談に乗れるようにしています。学生と教職員の距離がとて近くて驚いたという新入生の声がよく聞かれます。

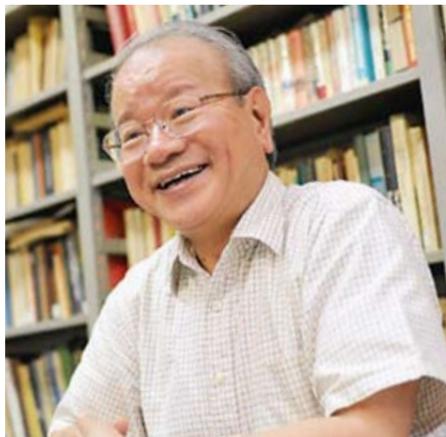
山口県立大学
山口市

学校概要

存在感のある「地域貢献型大学」を目指している。学生数約1300人、常勤教員約120名である。

沿革

- 1941年 山口県立女子専門学校として開学
- 1950年 山口女子短期大学
- 1975年 山口女子大学(4年生)に移行
- 1996年 山口県立大学に名称変更、男女共学となる
- 1999年 大学院(修士課程)を開設
- 2006年 公立大学法人山口県立大学を設立



相原次男教授

Q 男女共学になったことで、学生の行動やメンタル面での変化がありましたか？

男子学生、女子学生が一緒に学ぶことが当たり前になり、男女に対して平等に学びの場が提供された開放性を強く感じています。

男子学生数は全体の14%で、女子大の色合いがまだ残っています。25%以上になると、男子学生が活気づくのでは、と思いますが、今のところ男子に少し遠慮があるように感じています。

Q 男女共同参画について具体的に、どのような指導をしておられますか？

男女共同参画という科目はありません。ただ、女性学を授業に取り入れて、ジェンダー論に関わりのある女性の先生が比較的多いと思います。

国際文化学部での生涯学習論では、自分の置かれた立場を当たり前ではなく、不思議だと気づかせる授業を行ってきました。たとえば、家庭の中では性差に関係なく家事を分担するなどです。

担当講師のそれぞれの専門分野で、学

生一人ひとりに気づかせることが大学の講義として意味を持つと思います。山口県男女共同参画推進条例にもあるように、人権の問題、特に女性の労働問題や出産・子育て、健康の問題に関して、男女がチームワークを組んで、家庭生活や労働を担っていくことはとても大切です。これらを学ぶことは、社会福祉学科や看護学科をもっている本学の個性であると思います。こうした学科に男子学生が入ることで、気づきの視点を与えています。



教職員採用に関して開放的であることも本学の特徴であり、良い伝統であるといえます。科目に合った能力があり、業績があり、貢献的であると評価されれば採用されてきました。

(取材：堀江)

Q ワーク・ライフ・バランスへの取り組みを教えてください。

難しい問題ですね。ただ、理想に向けてバランスを意識し生活することが大切だとは感じています。

人には家族責任・仕事責任・地域責任の3つの責任があると考えます。これらを常に意識して欲しいと思います。大人というモデルを見て子どもは育

どの教育現場でも、性差より、人を尊重するということが重要視されていますね。人としての尊厳を大切にし、その中で互いの性を認め合い共存できる社会が実現されていく未来が楽しみです。ご協力いただきました高校・大学にお礼を申し上げます。